

第1回 長浜市産業文化交流拠点整備推進会議 会議要点録

【日 時】平成28年12月26日(月) 午後3時00分～午後5時00分

【場 所】長浜市役所 1階 多目的ルーム1・2

【出席者】参加者 12人(敬称略)

大橋 松行	滋賀県立大学 教授
ウスビ サコ	京都精華大学 教授
平井 むつみ	滋賀文教短期大学 教授
伊吹 正弘	長浜商工会議所 副会頭
漣 泰寿	長浜地区地域づくり協議会 副会長
小西 光代	長浜市図書館協議会 委員
伊藤 雅明	長浜市社会福祉協議会 常務理事
磯崎 真一	長浜市文化芸術ユース会議 会長
川村 美津子	公募市民
大橋 優子	公募市民
北川 雅英	長浜市産業観光部長
米澤 辰雄	長浜市市民協働部長

市 8人
江畑次長(市民協働部)
中川副参事(建築住宅課)
林副参事(建築住宅課)
沢井技師(建築住宅課)
下司副参事(生涯学習課兼産業文化交流拠点整備室)
田中副参事(財産活用室兼産業文化交流拠点整備室)
西田副参事(産業文化交流拠点整備室)
高木主査(産業文化交流拠点整備室)
設計業者(株式会社久米設計 鈴木副部長(統括) 櫻木上席主査(意匠))

傍聴人 4人

【内容】

- 1 開会
- 2 あいさつ
 - ・市長あいさつ
- 3 参加者の紹介
 - ・参加者自己紹介
- 4 推進会議の趣旨、開催要領について
 - ・事務局から説明
- 5 座長の選出

- ・大橋松行氏を座長として選出

6 議事

(座長)

- ・議題『(1) これまでの検討経過について』を説明してもらいます。

(事務局)

- ・『(1) これまでの検討経過について』を説明。

(大橋座長)

- ・事務局から経過についてご説明をいただきました。何かご質問等ありましたらお願いします。

ー質問事項なしー

- ・質問が無いようですので、続いて『(2) 設計コンセプト・基本的な考え方について』及び『(3) 土地利用・ゾーン構成計画について』ご説明をお願いします。

(説明)

- ・『(2) 設計コンセプト・基本的な考え方について』、『(3) 土地利用・ゾーン構成計画について』を説明。

(座長)

- ・ご質問がありましたらお願いします。

(質問)

- ・産業支援機能と図書館・公民館機能とのつながりはまったく無いと思ってよろしいでしょうか。まったく別個の建物になりますか。

(回答)

- ・関係性はありますが、建物としては別です。ただしそれでは2つぜんぜん違う建物が建ってしまうので、今後どのようにしていくかということもありますが、基本的には一つに見える工夫をしていきたいと思っています。

(質問)

- ・文化福祉棟から産業支援棟へ行くには1階から一度外へ出てからということですか。

(回答)

- ・今はそうです。

(質問)

- ・社協の位置が3階にありますが、本当に困った人が相談に行くのに3階まで上がるのはどうかと思います。それを3階にするというのは社協へ訪れる人へのハードルになるのではないのでしょうか。

(回答)

- ・ご指摘の部分もありますが、エレベーターがあるということで自由に登ることが可能になると思っています。ご指摘のように社協の方にもさまざまな生活支援等の相談に訪れる方がおられます。新施設で皆さんがフレキシブルにご利用されるところを通ってくるというのがちょっと憚られる方も中にはいらっしゃいます。そういった方があまり人目につかないようなところを通って3階まで来ていただ

くということが可能であれば、ご配慮いただきたいと思います。

(質問)

- ・観光バスの乗降する場所があるという話でしたが。

(回答)

- ・観光バスの乗降としては東側市道から入って西側市道へ抜けていくルート計画を考えております。乗降場所として一定の場所を設けることはちょっと難しくなりましたので、公安委員会協議も行わなければいけませんが、観光バスの受入が出来るようには考えております。

(質問)

- ・ずっと居たくなる「居場所」と「ボーダレスな空間が繋がっている」という基本的な考え方を聴いて、私の頭の中では「ボーダレスで繋がっていく」ということと掲示されたゾーン構成は図書館があって、その隣にそれぞれ会議が出来たり作業が出来たりする部屋があるのかなと。「ボーダレス」という言葉では分かるのですが具体的に目に映りにくいという部分がありまして、そこがどのように繋がるのかを教えてほしい。また、1階の3分の1ぐらいが管理的な場所としてあります。バックヤードの意味合いかなと思いますが1階にそれだけのスペースが果たして必要なかどうか。バックヤードの部分こそ3階にもっていくとかそういうことを考えるべきだと思うのですが。

(回答)

- ・ボーダレスの話ですが、施設計画を行っている中で実際には、風除けに入ってフリースペースの所ぐらいからブラウジング、活動室までは扉も何も無い状況の中に市民の方が来られ、あちらに行ったりこちらに行ったり。そういったことが出来るイメージです。今までの図書館であれば本の出入がありますので、必ず何処かに仕切りを作らないといけなかった。今回はそれを入り口のところでやってしまうということで、実際は色分けされていますが、その色が1色になるようにしています。ですから活動室と一括りで書いてありますが、その活動室の部屋のあり方につきましても整然と並べていくというわけではなく、例えば人の動線がぐるぐる回れるような廊下を作るとかそういうことでもっと交流が出来るような形になります。更に2階につきましても、もう少し活動室が入ってきますので実際には境界は無い形で図書館と共有する提案をさせていただいております。本を持って活動室で何か講習・講座が出来る提案をさせていただいております。居場所につきましてもイスやテーブルを並べるような形で考えております。人が溜まれるスペースをこの中に入れさせてもらっております。また、管理室・窓口の部分ですが、今までは公民館・図書館でそれぞれに諸室を持つことになりましたが、この施設ではひとつにまとまれるような形にしております。ただ、図書館は本の搬入とか整理とかがありますので、どうしても駐車場に近いところに図書館の管理室は配置されます。基本的にはもっと入り混じった形で計画を進めています。

(意見)

- ・一つは「固い」という感想ですね。今まである既成の図書館の概念を多少柔らか

く「ボーダレス」という言葉で表現されていますが、今までの図書館がまだ通じる前提で話が進んでいるところがあります。図書とか本とか「学び」に対する生涯学習も含めてその概念自体を新しいコンセプトとしてもっていかないといけないと思います。

- ・ もう一つは人が見えないということです。こういった場所は小さいお子さんからお年寄りまで色々な人が空間的に混ざって何かを活用する場所。全員が図書をもって何処かへ行ったりする、それだけでは人は来ません。行きたくなる価値観というものは、既存の図書館の概念では通じなくなっている部分があると思うので、そこがもう少し見えないなと。ゾーニングは仕方が無いので、動線の前に図書館という場所としてのコンセプトをもう少し市民が見えるようなコンセプトにもっていったほうがいいなと思います。今の状態は昔の図書館の考え方をちょっと良くしたようにしか見えません。図書館機能だけではなく市民が活動する場所として、活動の種類もあるでしょうけど造らないといけない。場所が活動を規定するのか、活動があってそれに合う場所を作らなければいけないのかありますが、長浜の人たちがどういう活動を本当に求められているのか。市民がこれからどういう文化的な発展をしていくかということも含めてそれを支える施設になっていかないと意味が無いと思います。「あそこがあれば新しい活動が創造できる」「こんなことが出来る」「こんなことがしたい」というようなことがある程度できる場所にしないとイケない。日本の図書館はどこも管理に縛られていてつまらなくなる傾向があります。今回市民がかなり関わっていく前提ならば、その管理体制も市民を含めて管理を考えていく。今までの管理だと面白くないので。市民の信頼感も含めてちゃんと表現できる場所作りをしていかないとイケないなと個人的に思います。もっと緩やかに管理するシステムがもっともっとあると思います。固定してしまうとそれ以上のことが出来ない可能性があるのももう少し見直せる可能性があるなら見直せるようにしてほしい。

(意見)

- ・ 3年近く前から今回の事業に関わっていますが、図書館だけを作るのであれば先生のおっしゃられることはもっともだと思います。しかし、ここは複合施設ですので、図書館だけに変化を求めることは難しいかなと思います。それが「固い」という表現はあっていると思いますが、複合施設を作るのにどこまで柔軟に出来るかなというのは久米設計も考えておられると思います。そこが難しいと思うのですが。
- ・ 文化福祉棟と産業支援棟を繋げることについてですが、基本構想の中では繋いでいましたが経費の問題とか色々事を考えた中で分棟にせざるを得ませんでした。繋げた方が人の流れが良いことは分かっていますが、最終的に分棟としたほうが良いという結論に達しました。両建物全体の人の流れがスムーズに回転できるような設計を考えてほしいと思います。

(意見)

- ・ 役所のもっている構造がこの建物に現れてしまっています。別に市役所の活動が

図書館の中にあっても良いと思います。何故そこに線を引かなければならないのか。今までは、それぞれが自分のところは自分で管理したいから管理場所をハッキリ分けてほしいという考え方。その考え方は新しい施設に無くてもいいじゃないですか。そのための新しい管理体制を作ったら良いと思います。管理はそれぞれ利用者メンバーが参加する。今は管理のシステムが先に先行してしまっていて、どうしても役所が持っている体制が崩せないから結局それぞれがゾーニングをしないといけなくなる。新しいことをやるのは簡単ではないかもしれませんが、それぞれの活動は矛盾しないですよ。いろんな活動を図書館でやっても良いし、あるいは図書館にうんと新しい楽しいものを持って来る。例えば図書館でコンサートをやっても良い。わざわざフリースペースにいかなくてもいいのではないですか。スペースの本来の機能をそのまま持って活動するのではなく、その機能を崩せるぐらいのスペースの可能性を持たせてあげる。コンセプトが大事になります。皆さんすごく居場所を求めてあちこちうろろされている。図書館は作っただけで市民の居場所にならなかったと言うことのないように、居場所を作るのであれば市民はどういう居場所を求めているのか、そこはスペースを分断するのではなくて、ここで活動する者同士のコミュニケーションの距離感がもしかしたら居場所を形成する一つの条件なのかもしれません。だからそういうところが見えてこない、人が見えてこないというのが私の主張です。

(座長)

- ・色々なご意見が出ていますけれども、久米設計としてはどう思われますか。

(回答)

- ・貴重なご意見ありがとうございます。今のご意見を真摯に受け止めたいと思っておりますし、私どももそのような形で施設を作っていきたいと思いますが設計していく中での大前提としてどうしても機能をどう混ぜていくかということが障壁になります。先ほど社協の話にもありましたけれども、ごちゃごちゃしたところに居たくないという方々をどうするのか、また、本を読む人にしても騒がしいところで読んでもいいと思っている人とそれが嫌だと思える人。公民館の活動をやっているときにどうしても音が出てしまう。渾然一体ごちゃごちゃの中で施設を作っていきたいというのは根本的なものとしてあります。ただ、機能として図書館では図書館の譲れない部分も理解しています。そういうのもうまく融合させていきたい。演劇の話も聴かせていただきましたし、公民館さんの活動も聴かせていただきました。図書館さんの話も聴かせていただきました。それをどうやってもうまく結合させていくかというのを考えて計画をしている段階です。「固い」といわれれば、「固い」のかもしれませんが出来る限り柔らかくしていきたいと思っております。ただ、これには施設を設計する気持ちと思い、更にはここで活動される方。そして、ここを運営される方が同時にそれぞれウインウインの状態にならなければならないと思っておりますので、それには次の段階でこういう空間になったんだと言っていたように設計の方は努力していきますので今日はこちらでご容赦いただきたいと思います。

(意見及び質問)

- ・図書館として考えたときにやっぱり図書館に来たときには、「静かに本を読みたい」とか「調べたい」という気持ちがあります。いろんな人が混ざり合うというのはいいかもしれませんが、「図書館に本を読みに行く」という目的をもっていく場所も必要だと思います。その辺を仕切りなしに動けるように作るのは難しいだろうなと思います。私もそこが具来的には見えてこないところなので、そこをどうやって具体化させていくのかと期待もあるところです。一階部分は見渡せるようなイメージなのではないでしょうか。

(回答)

- ・壁があるとしてもそれはガラスの壁。向こうが見えるような形にしたいと思っています。ただ、シャットアウトが出来るような形は考えております。ただし、すべての意見を受け入れることは出来ません。ただ、出来る限り実現できる構成は考えています。

(質問)

- ・働きながらだと平日の日中には行けません。また、活動する時間も夜間、もしくは夜遅くまで活動したい人、土日祝日に活動したいと思っている人が図書館が閉まっている時間でも使えるような入口や管理方法の仕掛けが見えないのですが、こういった使い方は可能ですか。

(回答)

- ・時間的な区切り、たぶん図書館は早く閉館します。でも公民館・まちづくりセンターはもっと遅くまで活動されるということを意識しながら、セキュリティの考え方も今プランの中には盛り込んでいます。更にはそれが重なった時間、夜の活動のほかに学生のバンド活動とか一般の方のバンド活動とか音を出す環境もあると思います。それも出来るだけ建物、部屋で吸収できて図書館で本を読んでいる人に出来るだけ音が伝わらないようにホールの考え方を応用したりしてこの施設に入れていこうと思っています。

(意見)

- ・活動時間の話が出たのでそれに関して。図書館が夜7時に閉まってしまうと働いている人はほとんど土日しか使えません。市民がある程度主体になって動くのであれば今の図書館機能からちょっとゆるいような形、24時間開放するという必要は無いと思いますが、文化に親しむという意味で夜遅めまで開けていただけるシステムを作っていただけると良いなと思います。また、公民館もこれから市民の活動の場となっていく中で、コミュニティビジネスが出来る場として出来たら開館時間であったり休館日は施設のメンテナンスの問題もあるとは思いますが、柔軟な体制にしてもらうことでさまざまな人が行ったり来たりきたりすることが出来ると思います。商工会議所が別棟なのが非常に残念です。文化福祉棟と産業支援棟との行き来は底の下で繋がっている。行き来はそういう面でするしかないのはしょうがないのかなというのが本音です。観光バスのお話は事業計画の段階で、ここを拠点にという話もありましたが、赤十字病院へ受診に行かれる方の自

動車の混み具合を見ているとそれが果たして可能なのかなと感じていました。土日の受診はお休みですけど救急車の交通とか思うと綺麗ごとだという感じがして、今の市民生活からみて本当に実現可能なのかなと思います。

(座長)

- ・次の『(4) 管理運営と利活用について』の内容とリンクしてしますので、先に事務局から説明をいただき、合わせて『(5) 意見交換』をしていきたいと思います。

(説明)

- ・『(4) 管理運営と利活用について』を説明。

(意見)

- ・建物の話ではないのですが、駐車場ですね。自動車の出入口が東側市道からとなっています。西側市道から観光バスが入ってくるとなっています。西の市道にしても、東の市道にしても、特に東側市道は日赤へ行く救急車など、いずれにしても混雑する可能性が大きいと思います。この駐車場に100台近く停まっている中で、イベントや会議等で一斉に自動車が出る場合、西側出入口からしか出入りが出来ない。大きな混雑問題だと思ひまして。西から入ってきて出るのは良いですが、西のマンションが建っているところ、マンションから八幡宮までの間に空き地があります。八幡宮の所有地ですが、そこを抜けられるように何か考えられないかと。若干斜めになりますが、駐車場への出入が一か所だけとなると混雑するので。しかも県道へも出にくい。検討するのであれば、そこを一度検討いただけないかなと。

(回答)

- ・東側市道への出入口はゲート管理で施設管理者が臨時的に開閉することを考えております。西側出入口から北へ抜けることについては、今のところは考えておりません。用地買収も絡みますので非常に難しい問題があると思います。

(質問)

- ・東側市道のゲートは観光バスしか出入ができませんということですか。

(回答)

- ・基本的には東側ゲートは常時封鎖しております。そこは施設側で操作して開けるという形です。観光バスも勝手に入ってくるのではなく、予約を入れてから入ってくるという考え方をしております。東側市道についてはもう一か所、商工会議所の出入口にするということで公安委員会と協議をしております。公安委員会協議の中で敷地の出入口は2か所までとなっています。3か所4か所出入口を設けることは難しいです。臨時的に市が管理するのであればバス用出入口は開けられるという話を公安委員会からいただいているところです。

(意見)

- ・八幡宮との間の道の件ですね、八幡さんの持ち物なんですけど、買収ということも考えられないこともない。一度何かそういう方法も考えないと、西の一か所だけの出入りだけではちょっと大変かなという感じがします。行政としてもその辺り、もうちょっと考えないといけないのではと思ったので。色々

とご検討いただきたいと思います。

(座長)

- ・ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

(質問)

- ・駐車場に関して、南側になる部分で現在の社協の前に横断歩道が出来るということですか。

(回答)

- ・横断場所についてもいろんなご意見がございます。これについてもまだ具体的な協議まで至っておりませんので。この駐車場であれば駐車場法とか色々な絡みもございますので、車の出入口はこの辺と考えているところです。これも一か所、この道路を広げる予定をしておりますので、そちらで車の出入をさせるという考え方をしているところです。

(意見)

- ・100 人ぐらいの規模の講演会などが開催されるようなケースが出てきたときに具体的にどういうスペースが充てられますか。

(回答)

- ・この施設の中で100人規模の講演会を想定しているのは2階の「多目的ルーム」というところになります。今の想定では100㎡の部屋と150㎡の部屋が連結することで250㎡となるような「多目的ルーム」を作ります。ですから100人規模の集会をやるのであれば、そちらの部屋で対応が可能なようにしております。

(意見)

- ・中央図書館という名前がついているのですが、現存の長浜図書館は無くなる方向ですか。

(回答)

- ・そのとおりです。

(意見)

- ・2階の大勢が集まれる場所はこれだけですか。

(回答)

- ・2階は「多目的ルーム」と「活動室（小）」を計画しています。「多目的ルーム」は「1」と「2」という部屋があり、例えば「1」が100㎡だとすると「2」が150㎡。「1」と「2」を合わせて250㎡。「活動室（小）」というのは小さな会議室です。公民館ゾーンと図書館ゾーンの境界線辺りに部屋を考えております。ただ場所は確定しておりません。部屋数は2から3です。

(質問)

- ・部屋を連結すれば大きく出来るのですね。

(回答)

- ・「多目的ルーム」ですと「1」と「2」を接続して一番大きくしても250㎡。「活動室（小）」は接続して中会議室程度として利用程度の広さになります。沢山の部屋を作ると効率が悪くなりますので。市役所の多目的ルームのように一つの部屋

を2つに分けたり3つに分けたりすることによって色々な使い方が出来るように考えています。

(補足説明)

- ・「多目的ルーム」は2つあわせると250㎡になりますが、「多目的ルーム」に前室を設けたり防音効果とかイスを入れる部屋とかを設けたりすると若干小さくなってきています。200㎡以上250㎡未満の部屋として考えています。

(質問)

- ・公民館のサークルが毎週活動されているところは使えないのですか？

(回答)

- ・今の公民館の現状を維持できるようにしています。

(質問)

- ・先に1年間契約しているサークルが優先ということでしょうか。

(回答)

- ・施設運用の考え方ですが、基本的には今活動されている方はその活動が維持できるような形で移転させます。小さな部屋は順次埋まってくると想定しています。ただ、多目的ルームは今の長浜図書館には無いので、そこは新しい利用になると考えています。

(質問)

- ・商工会議所の2階にホールがありますが、産業支援棟の2階にもホールが出来るのですか。

(回答)

- ・長浜商工会議所と各商工会を合体させて、共同で「長浜ビジネスサポートセンター」を立ち上げました。1階はそこが占めます。2階は長浜商工会議所が使う予定をしています。1階スペースをいろんな方に使えるようにしたいと思っています。

(意見)

- ・産業支援棟もある程度のレイアウトみたいなものも掲示いただけるとありがたいと思います。集会所ですね、新しい施設ができたときに100人～150人が入れる会議が可能かどうか。しかもそれが他の市民活動の妨げにならない状態で果たして確保できるのかということが切実な問題ですので。そこは次回までに良い説明がしていただけるとありがたいなと思います。

(回答)

- ・産業支援棟の中に300人ぐらい入れる集会所がほしかったのですが、設計の中でそれは難しいとなりました。それと商工会議所の活動の範囲で夜の12時までぐらい会議を行う団体もいますので、200人近い人が入れる面積を確保しようとしています。ですから産業支援棟に入っている団体も文化福祉棟を使わせていただきますけど、産業支援棟でも150人から200人が入れる会議場を作る予定はしております。

(質問)

- ・文化福祉棟と産業支援棟との間に出入口を作るという想定はなかったのでしょうか。

(回答)

- ・昨年からのご協議の経過も承知しております。今現在の法律状況、商工会議所に苦渋の決断を下していただきましたけれども経費の関係、これからのランニングコスト問題等を現実問題として総合的に判断させていただいたときに、現状の状態では繋ぐことは非常に難しいという結論に達した形です。繋いだ方が利便性が良いということは十分に存じておりますが、諸般の輻輳した問題が設計段階で出てまいりまして、どうしても接続することは難しい状況です。また、現段階では文化福祉棟と産業支援棟との間はほとんど隙間がない状態です。

(補足説明)

- ・産業支援棟は消防法の関係で耐火構造の建物にします。玄関は文化福祉棟の玄関と産業支援棟の玄関の2つが出来ることになります。

(意見)

- ・ユーザーから見ると文化福祉棟と産業支援棟が分棟になっている諸事情は見えません。分棟になっていると違和感がありますので、施設の前の広場を活用して違和感がない様にしてほしいです。

(質問)

- ・管理運営方針で当面は直営となっておりますが、それぞれの機能が管理するということですか。

(回答)

- ・センター的な扱いをして一括管理をしたいと思います。今、公民館は市民協働部にあります。福祉部門だけは別所管になると思いますけど、施設全体をセンター配置するという思いをしております。ただ、組織決定はしておりません。考え方としてはそういう考え方をしております。

(質問)

- ・「当面は」とはいつまでですか？

(回答)

- ・難しい質問です。当面は当面としか言えません。

(意見)

- ・初めてのものを作っていく恐れとか戸惑いをすごく感じるのですが、その分新しいものができる「楽しみ」とか「わくわく感」がないことには特に若い人の気持ちをこちらに向けることが出来ないと思います。今までの所管の話を聴いてもいると、定時に閉まってしまう気がします。夜10時、11時まで開けてくれるのと思っているのに今までのままだと、市民が求めている利用とのギャップが埋まらないままになるのではないかという不安があります。運営の移行は3年で終わるべきかと思います。始めから長いというよりは目標を決めてもらわないと市民も納得が出来ないかなと思うのと、今回ランニングコスト等お金の話が出ていせんが年間何千万円という金額を税金で回していくということを考えていくと市民

にとって有益な施設になるためにどうやって壁を取っ払っていくのかということ
を久米設計も知恵を絞ってもらっているのです。色々な組合せが出来るという複合
施設という考え方が10年後には当たり前になっていると思います。良い施設と
なるように法律ぎりぎりのところでがんばっていただけたらと思います。

(座長)

- ・時間も押してきておりますが、是非これは言っておきたいということがございま
したらお願いします。

－意見なし－

- ・他に意見も無いようですので今回の意見交換はこれで終了とさせていただきます。
ありがとうございました。

7 その他

- ・次回の会議の日程は平成29年2月2日木曜日、午後3時から。
- ・第3回は3月2日、第4回は3月24日を予定。詳細については後日再度連絡。

8 閉会